

ダイハツ九州、久留米工場の生産能力を増強

ダイハツ工業株式会社の子会社であるダイハツ九州株式会社は、エンジン工場である久留米工場の生産能力を2013年5月に増強する。

久留米工場は、2008年8月操業開始以来、大分（中津）工場に軽自動車用エンジンを供給しているが、大分（中津）工場の車両生産拡大に伴い、エンジン生産能力が不足し高負荷操業が続いており、供給不足分のエンジンは、ダイハツ工業㈱滋賀工場から供給を受けている。

今回の生産能力増強により、操業の適正化、および、エンジン供給の効率化を図る。

今後も工場コンセプトである「シンプル・スリム・コンパクト」を推進し、軽自動車に最適なエンジンの供給を続け、大分（中津）工場とともに、「世界一のスモールカーメーカー」の実現を目指す。

【久留米工場の概要】

所在地：福岡県久留米市田主丸町吉本1番地

操業開始：2008年8月

用地面積：約17.4万㎡

生産品目：軽自動車用エンジン、CVT部品

	現行	増強後
建屋面積	約1.8万㎡	約2.7万㎡
エンジン生産能力 (年産)*2直定時	約21.6万基	約32.4万基
構成ライン	1ライン	2ライン

※設備投資額（増強分）：約70億円

以上